

令和4年度 秋田県立秋田北高等学校 学校評価

分掌名 (3年部)		記載者 岸 直子						
重点目標	<p>3年間の目標：「主体性」と「考動力」を育成する。</p> <p>3年次の目標：最高学年としての自覚を持ち、確かな学力の伸張と豊かな感性の涵養を図りながら、諦めずに努力し、進路志望の実現を目指す生徒を育成する。</p>							
具体的な計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会生活の基盤となる生活習慣と学力・教養の定着を図り、最高学年として他学年の模範となるような規律ある生活ができるよう指導する。 2 主体的で共感力のある生徒を育成するために、クラスや一人ひとりが考えて選択したり、生徒が互いに協力したりできる場をLHRや学校行事などで設定する。 3 学力の向上のために自走できる生徒の育成に向け、授業や補習、特別講座など、工夫を凝らした学習指導を実践する。 4 進路学習を支援し、必要な学問分野の教養を身に付けさせるために、LHRや総探の時間を有効に活用する。 5 ライフデザインを意識して、各種通信や集会、面談などを通して生徒・保護者に対し適切な時期に適切な情報を提供しながら、進路志望の具現化のためにコミュニケーションを図る。 							
具体的な取組状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">前期評価</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業に向かう姿勢や部活動や学校行事への主体的な取り組みは、コロナ禍の現在で制限のある中だが3年生としての役割を果たすことができている。 2 運動会や北高祭等の学校行事の成功に向けて、他者と協働しながら主体的で独創的な行動をクラスや委員会実践することができた。 3 小論文対策を見据え、生徒の興味関心に沿って教養講座を設けた。基礎知識を得て専門性を高めることにつながった。補習計画を生徒に提示し、生徒が自己の学習計画に基づいて各自で選択しながら学力の向上に取り組むことができている。 4 担任との面談を繰り返しながらコミュニケーションの充実を図り、進路志望の達成に向けてLHR等の有効な活用ができている。 5 グーグルクラスルームを活用し、新しい情報を随時提供している。また、学年及び学級の通信や進路通信の発行、三者面談等の実施を通じて丁寧な進路指導を実施できている。 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">総合評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">後期評価</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1 受験が近づくにつれ緊張感が増し、学力向上に向けて着実に取り組む北高生らしさを示すことができた。また、推薦等で進路決定した者も共通テスト受験までやりきるというルールを貫くことができた。 2 個々に活動する場面が多くなったが、自他を認め、進路実現に向けて一体感をもって活動することができた。 3 平日の放課後補習は科目を絞って弱点克服に努めた。朝に補習として英作文と医療看護の集中講座を企画した。生徒の主体的な取り組みがみられ概ね良好であった。 4 面接指導を学年全体で実施し、進路学習の支援を行うことができた。担任は生徒との面談を充実させており、LHR等の有効な活用ができている。 5 新しい情報を随時提供している。また、必要に応じて面談等を実施し、丁寧な進路指導を実施できている。 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">B</td> </tr> </table>	前期評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業に向かう姿勢や部活動や学校行事への主体的な取り組みは、コロナ禍の現在で制限のある中だが3年生としての役割を果たすことができている。 2 運動会や北高祭等の学校行事の成功に向けて、他者と協働しながら主体的で独創的な行動をクラスや委員会実践することができた。 3 小論文対策を見据え、生徒の興味関心に沿って教養講座を設けた。基礎知識を得て専門性を高めることにつながった。補習計画を生徒に提示し、生徒が自己の学習計画に基づいて各自で選択しながら学力の向上に取り組むことができている。 4 担任との面談を繰り返しながらコミュニケーションの充実を図り、進路志望の達成に向けてLHR等の有効な活用ができている。 5 グーグルクラスルームを活用し、新しい情報を随時提供している。また、学年及び学級の通信や進路通信の発行、三者面談等の実施を通じて丁寧な進路指導を実施できている。 	総合評価	後期評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 受験が近づくにつれ緊張感が増し、学力向上に向けて着実に取り組む北高生らしさを示すことができた。また、推薦等で進路決定した者も共通テスト受験までやりきるというルールを貫くことができた。 2 個々に活動する場面が多くなったが、自他を認め、進路実現に向けて一体感をもって活動することができた。 3 平日の放課後補習は科目を絞って弱点克服に努めた。朝に補習として英作文と医療看護の集中講座を企画した。生徒の主体的な取り組みがみられ概ね良好であった。 4 面接指導を学年全体で実施し、進路学習の支援を行うことができた。担任は生徒との面談を充実させており、LHR等の有効な活用ができている。 5 新しい情報を随時提供している。また、必要に応じて面談等を実施し、丁寧な進路指導を実施できている。 	B	
前期評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業に向かう姿勢や部活動や学校行事への主体的な取り組みは、コロナ禍の現在で制限のある中だが3年生としての役割を果たすことができている。 2 運動会や北高祭等の学校行事の成功に向けて、他者と協働しながら主体的で独創的な行動をクラスや委員会実践することができた。 3 小論文対策を見据え、生徒の興味関心に沿って教養講座を設けた。基礎知識を得て専門性を高めることにつながった。補習計画を生徒に提示し、生徒が自己の学習計画に基づいて各自で選択しながら学力の向上に取り組むことができている。 4 担任との面談を繰り返しながらコミュニケーションの充実を図り、進路志望の達成に向けてLHR等の有効な活用ができている。 5 グーグルクラスルームを活用し、新しい情報を随時提供している。また、学年及び学級の通信や進路通信の発行、三者面談等の実施を通じて丁寧な進路指導を実施できている。 	総合評価						
後期評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 受験が近づくにつれ緊張感が増し、学力向上に向けて着実に取り組む北高生らしさを示すことができた。また、推薦等で進路決定した者も共通テスト受験までやりきるというルールを貫くことができた。 2 個々に活動する場面が多くなったが、自他を認め、進路実現に向けて一体感をもって活動することができた。 3 平日の放課後補習は科目を絞って弱点克服に努めた。朝に補習として英作文と医療看護の集中講座を企画した。生徒の主体的な取り組みがみられ概ね良好であった。 4 面接指導を学年全体で実施し、進路学習の支援を行うことができた。担任は生徒との面談を充実させており、LHR等の有効な活用ができている。 5 新しい情報を随時提供している。また、必要に応じて面談等を実施し、丁寧な進路指導を実施できている。 	B						
今年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難関志望者に対するグルーピングの適性や、指導の時期に計画性を欠いた。また、弱点教科の強化や習熟度別指導等も検討の余地がある。 ・ 体調不良や精神的にもろさがみられる生徒への対応と指導。 	今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標と指導計画の明示および成績状況の分析に基づく計画を随時見直す。 ・ 教育相談部、養護教諭、外部専門機関等との連携の強化と保護者との信頼関係の構築の強化。 					

I

—